

# 2011年司法制度研究集会に向けて 第1回 プレシンプのお誘い

「司法改革」の名の下、この10年ほどの間に、司法試験合格者の急速な増加、法曹養成制度の激変、弁護士の増加、労働審判制、公判前整理手続、裁判員裁判等々、司法制度の一部に大きな変更が加えられました。

しかし、基本的人権擁護と、国民の裁判を受ける権利の保障といった、日本国憲法の理念から求められるべき国民のための司法の観点から見て、どの様に評価すべきものとなったのでしょうか。いま、私たちは、この間の「司法改革」について、何よりも「国民のための司法」という判断基準から分析し、評価し、今この地点において、改めてあるべき司法にとって目指すべき課題を明らかにすることが必要なのではないでしょうか。

日本民主法律家協会では、来年、2011年10月1日に第42回司法制度研究集会を予定していますが、2ヶ月に1回程度のペースで4回にわたってプレシンプジウムを開催し、その成果を司研集会に結実させていこうと考えました。

第1回目のプレシンプは、昨年岩波新書『司法官僚 裁判所の権力者たち』を上梓された新藤宗幸先生にお話しいただくとともに、2001年に司法改革市民会議によって提起された「意見書」を基に、この10年の司法の動きを検証したいと考えております。ぜひ、ご出席いただき、積極的に討論にご参加下さい。

## ■第1回 プレシンプ■

日時◆2011年2月4日(金)午後4時～7時  
場所◆東京・四谷・プラザエフ 3F コスモス  
(四谷駅前・旧主婦会館)  
参加費◆500円(資料代として)

### 基調講演 司法官僚の支配の実態と 司法改革の課題について

千葉大学法経学部教授 新藤宗幸 先生

#### ◆岩波新書・「司法官僚」の目次(概要)◆

序章 日本の司法のなにが問題なのか／第1章 いま、なぜ、司法官僚なのか  
第2章 司法官僚は、どのように生まれるのか／第3章 司法官僚の支配の実態  
第4章 裁判所をどう変えるか／終章 司法改革の責任は市民にある

### 検証 司法「改革」の現状をどう見るか

「司法改革市民会議意見書」(2001.1.20発表)から10年。意見書に掲げた  
司法改革の展望と目標に照らし、この10年の「司法」の現状を俯瞰する  
報告・司法改革市民会議事務局長 高見澤昭治 弁護士

#### ◆司法改革市民会議意見書・概要◆(「法と民主主義」No.355掲載)

国家と財界のためでなく市民のための司法改革を  
第1部 市民にとってあるべき司法改革／第2部 中間報告の内容と問題点

#### ◆予 告◆

日民協創立50周年記念  
第42回司法制度研究集会  
(2011年10月1日・プラザエフ)  
司法「改革」と新たな司法改革の提言

#### 日本民主法律家協会

東京都新宿区新宿1-14-4 AMビル2階  
電話 03-5367-5430  
FAX 03-5367-5431  
メールinfo@jdla.jp URL <http://www.jdla.jp/>